

セチュラの風だより

2019年8月 第五号



日本文化をペルー・イカ州で紹介！！

西島 将 (Nishijima Tadashi)

まだまだ暑い日が続いておりますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？今回は、6月23日(日曜)にペルーイカ州で行われた JICA 帰国研修員同窓会(APEBEJA)主催の日本文化ワークショップ(TALLER CULTURA JAPONESA)について紹介したいと思います。当日は、約 300 人が来場し大盛況でした！！

日本文化はペルーでも大人気！？

日本文化ワークショップでは、ペルーで活動している約 20 人の協力隊員と JICA 関係者が協力して体験型アトラクション(折り紙・着付け教室・茶道・書道・豆つかみ・空手・柔道)を行いました。私は、小学生から習っていた書道をペルーの方に紹介しました。

自分の書いた書道に誇らしげな人、筆の使い方を熱心に練習する人、空手に大興奮な人、みんなとても楽しそうでした。ペルー人は、日本文化にとっても興味があるのだなという事を改めて実感しました。

また、新たな視点でペルーの人々について知る機会となり、より一層ペルーの事が好きになりました。



空手の実演



書道体験

ペルー・イカ州ってどんな街？

今回は、開催地ペルー・イカ州について紹介します。イカ州は、首都のリマからバスで 5 時間ペルー南側のコスタ(海岸沿い)に位置し、21 万人が住む都市です。パラカス国立自然保護区、ワカチナ、ナスカの地上絵が有名で、ブドウ、アスパラガス、玉ねぎを国外に輸出しています。また、イカ州で作られるピスコ(ペルー独自のブドウ酒)やワインはペルー国内外から高品質と評価されています。現在 JICA の協力隊員が 5 名活動しています。



ワカチナ・砂漠に眠るオアシス

彼女も僕のことを見ているから



I Stret Nomo! バヌアツ共和国

環境教育 藤谷健太郎

I Stret Nomo! (イ・ストレット・ノモ!)

青い空、サンゴ礁に囲まれた青い海。多くの自然が残されているバヌアツ共和国。大洋州エリアに位置し国全体の人口は約30万人、80を超える島々が点在しています。

バヌアツ人は穏やかでフレンドリー。時間も緩やかに流れています。時間には人が集まらず、演劇も出演者が遅刻したので遅れますなど。そのようなときは「I stret nomo」現地語で大丈夫を意味するこの言葉で乗り切りましょう。世界一幸せな国で楽しく過ごすコツです。



シェファ州政府事務所

首都ポートビラ市内にあるシェファ州政府事務所。管轄内には数百人～数千人程度のコミュニティが島内に点在しており、各コミュニティに環境教育及び廃棄物管理に対する啓発活動をするのが主な活動となります。

シェファ州観光局と女性支援部門との連携も予定しており、環境教育としてだけではなく、収入向上支援・観光資源の保全などにも取り組めればと考えている次第です。

環境教育 藤谷 健太郎

神奈川県横須賀市出身。環境教育職としてバヌアツに派遣されています。前職では廃棄物関連に携わっていたため、その知識を活かして活動に取り組んでいます。趣味は「カメラ」、「トランペット」、「野球」です！バヌアツにはきれいな景色が多いのでこの2年間でいろんな場所の写真を撮影したいと思います。





神秘の国 ペルー共和国

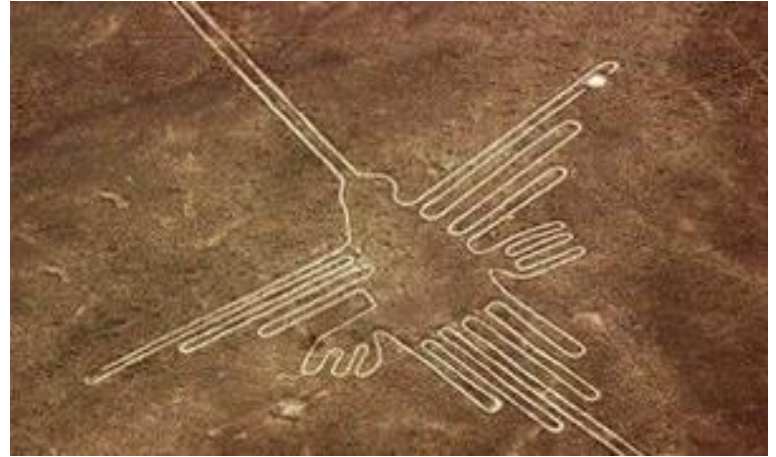
環境教育 西島 将

¡Buenos días!

みなさん、ペルーという国は知っていますか？

ペルーは、マチュピチュやナスカの地上絵等の観光、また日系2世のアルベルト・フジモリ氏が南米で初の日系大統領として誕生した事も有名です。そのため、ペルーには日系人が多く、そこに住む人々は日本文化に対して関心があり、友好的です。

また、近年美食の国として日本で取り上げられる事もあります。ペルーは、日本のほぼ反対側、南米大陸の西海岸にあります。長い歴史と多様な自然や食文化のある神秘の国です！



セチュラ郡役所

セチュラは、ペルーの北側に位置しています。首都のリマからは、飛行機で1時間、そこからバスでさらに1時間半、合計2時間半かかります。

セチュラは、砂漠や海、水辺にはマングローブが群生する地域が存在し、フラミンゴ等の野鳥の飛来地としても有名な場所です。そんな自然豊かな街ですが、水質汚染やゴミ問題等の環境問題が深刻で、その改善のために子供達や地域住民に環境教育をするのが私の職務です。

環境教育 西島 将

神奈川県相模原市出身。環境教育隊員として、ペルー北部セチュラ郡役所に2年間派遣されています。現在相模原市役所の現職参加として参加し、日本の行政機関で培った知識や経験を活用し活動に取り組んでいます。趣味は「マラソン」「旅行」です！

2年間のうちに、ペルーのマラソンに出て、日本の国旗をもって写真を撮りたいです！しかし、任地には野犬が多く狂犬病の危険性から練習が出来ません。





神々と自然と人が同居する国

ネパール

行政サービス 橋本 良

神々と自然と人

どこからか鐘の音がする。誰かの祈る音がする。僕のネパールでの朝は、誰かがどこかで“神に祈りを捧げる音”で始まります。

タクシードライバーも寺院の前を通り過ぎる際は、祈りを捧げます。人々の熱心な信仰心もあってか、ここで生活をしていると、彼らの信仰している神々を身近に感じることができます。

いつか、ある人から「ネパール人からすれば、富士山は丘のようなものさ」と言われました。

よくできた冗談だと感心した私ですが、その言葉もすぐそこにそびえる約8,000mのヒマラヤの連峰を望めば、冗談には聞こえなくなっていました。

空が埋まるほど巨大な山の麓で、ゆっくりと時間が流れるネパール、それもあってか人々は温厚で気さくな人が多いです、平成生まれの私ですが、そんなネパールの情緒に古き良き日本を見たような気がしました。



ポカラレクナート市役所

私が配属になったポカラレクナート市は、数年前ポカラ市とレクナート市が合併してできました。

それにより、人口約50万人のネパール第二の都市となりました。市のレイクサイドは、ネパール随一の観光地で、国内外からの観光客で賑わっています。

私の活動は、ポカラの副市長が実施している“女性の収入向上”のプロジェクトのサポートをすることです。（女性のための、語学スクールや職業訓練など）ネパールでは、女性の社会的地位が徐々に改善されているとはいえ、課題が多いのが現状です。

今は、市の各女性グループを巡回しニーズの把握と現状を調査しています。

行政サービス 橋本 良

ネパールでの愛称:スシル グルン

出身地:広島県広島市出身

職:広島県廿日市市役所より現職参加

座右の名:“住めば都”

趣味:メディカルハーブ・バスケットボール・バックパッカー・園芸など

やたらと多い趣味と市役所で勤務経験を生かし活動中。

また、ネパール人が驚くほどの、ポップコーン愛好家と知られている。無論、塩とバター派とのこと。





エコツーリズム コスタリカ共和国

体育・樋口 諒

¡PURA VIDA!

コスタリカ共和国は、中米国の一つで、太平洋とカリブ海にはさまれています。

コスタリカの特徴は森林面積が国土の約40%と言われ、国立公園・国立の自然保護区の面積が国土の約4分の1もあります。さらに世界中の約5%の生物がこの国、コスタリカに生息しています。

また1949年、「兵士の数ほど教師を」というスローガンを掲げ、軍隊を廃止しました。そして、国家予算の3割ほどを費やし教育や医療の充実に取り組んでいます。



体育隊員 樋口 諒

岐阜県土岐市出身。体育隊員として、コスタリカのロスチレス地域の学校体育の充足、スポーツイベントの企画・運営、ボクシングチームのコーチを中心に活動中。

大学時代は、國學院大学の地域ヘルスプロモーションセンターで活動、日本の公立小中学校で勤務。そしてハンガリーの大学へ留学。

活動後はスポーツ行政に関わること、また地元の市議として町のために貢献していきたいです。

CCDR Los Chiles

私が所属しているのは、ロスチレス市スポーツ委員会。(Comité Cantonal de Deportes y Recreación de Los Chiles)

ロスチレス市はコスタリカの最北部、ニカラグアとの国境近くにある小さな町です。そのためコスタリカ人だけでなく、ニカラグア人もかなり多く住む町です。ロスチレスは、貧困地域とも言われており、仕事も余暇もあまりありません。そんな中で、「スポーツを通して人生を豊かにしよう」という考えのもと、スポーツ委員会はスポーツチームを作ったり、イベントを企画したりして、地域住民の活動の場を提供しています。さらには、全国大会で優勝できるような選手、スポーツチームを作り、町を盛り上げようとしています。





二カニカ(☺) ドミニカ共和国

コミュニティ開発、平原知佳

ドミニカ共和国

美しいカリブ海に浮かぶエスパニョーラ島の東側半分を占める島国。島の西側ではハイチ共和国と国境を接しています。

実はドミニカ共和国はコロンブスがインド大陸を目指して航海していた時に初めに到着した島と言われています。その影響もあり、アメリカ地域で初の大学や大聖堂が建設され、今でも残っています。

また、多数の有名野球選手を輩出していることでも有名。ドミニカ共和国と聞くと野球をイメージされる方も多いのではないのでしょうか。



中央シバオ協同組合連合

ドミニカ共和国の北西部に位置するシバオ地区内の約50の協同組合を束ねる組織です。業務としては、様々な研修を各協同組合を対象に開いて組合員の知識習得に貢献すること、各協同組合間の横の連携を図ることなどがあります。

協同組合という組織は世界各国にありますが(日本でいう農協や生協など)、2006年にその思想と実践がユネスコの無形文化遺産に登録されました。7月第一土曜日は国際協同組合デーに定められています。



コミュニティ開発 平原 知佳

東京都世田谷区出身。コミュニティ開発隊員としてドミニカ共和国で活動中。大学で開発研究と国際関係学を専攻し、2018年3月に卒業、理論を学んだ次は現場を見たい、と新卒参加。任期終了後は大学院で更に開発学を深めたいと考えています。

好きなことはベース、コントラバス、たまにオカリナ。嫌いなことは、朝起きること。

